

平成28年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,933	4,698	△ 235	(注1)
施設整備費補助金	160	220	60	(注2)
補助金等収入	284	411	128	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	26	21	△ 5	(注4)
自己収入	2,352	2,304	△ 48	
授業料、入学金及び検定料収入	2,274	2,230	△ 44	(注5)
雑収入	78	74	△ 4	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	702	753	50	(注7)
引当金取崩	0	60	60	(注8)
目的積立金取崩	50	162	112	(注9)
計	8,507	8,630	123	
支出				
業務費	7,335	7,071	△ 263	(注10)
教育研究経費	7,335	7,071	△ 263	
施設整備費	186	241	55	(注11)
補助金等	284	384	100	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	702	768	66	(注13)
計	8,507	8,464	△ 43	
収入-支出	0	166	166	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた次年度への繰越額が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が235百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が128百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付額が当初の予定より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込より入学者数が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が44百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として著作権及び特許料収入等が予定より減少したことに伴い、予算金額に比して決算額が4百万円少額となっています。
- (注7) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より32百万円増加したこと及び寄附金収入等が当初の予定より18百万円増加したことに伴い、予算金額に比して50百万円決算額が多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、PCB処理に係る環境対策引当金を取崩したことにより、予算金額に比して60百万円決算額が多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が増額となったこと、及び、新たに退職手当や人件費を目的積立金の取崩により予算執行したため、予算額に比して決算額が112百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算金額に比して決算額が263百万円少額となっています。
- (注11) (注2)及び(注4)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が55百万円多額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が100百万円多額となっています。
- (注13) (注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が66百万円多額となっています。